



平成 25 年府中市議会 6 月議会終了

2013年5月13、14日には第1回臨時議会があり、今年度の議会内人事が決まりました。
また、6月3日～19日の17日間、平成25年府中市議会第2回定例会（6月議会）が開催されました。

第1回臨時議会

5月13、14日に行われた平成25年府中市第1回臨時会では議会内人事の審議が行われました。

今回、須山たかしは1年目に続き、再開発対策特別委員会の副委員長を拝命致しました。府中駅南口再開発は府中市の未来を担う大切な事業です。しっかりと取り組んでまいります。

須山たかし議会での役職

- 総務委員会 委員
- 再開発対策特別委員会 副委員長
- 議会運営委員会 委員
- 府中市交通安全対策審議会 委員
- 三多摩上下水及び道路建設促進協議会 第3委員（道路）

第2回定例会

平成25年6月3日～19日の17日間、平成25年府中市議会第2回定例会（6月議会）が開催されました。

第2回定例会では「第6次府中市総合計画基本構想の策定について」、「府中市子ども・子育て審議会条例」など11件の審議が行われました。また、陳情5件が審議されました

第6次府中市総合計画基本構想の策定について

現行の第5次府中市総合計画が平成25年度が最終年度であるため、府中市総合計画審議会で議論を重ねられてきた物が今定例会で議案として提案されました。総務委員会で、須山たかしは以下の様な質疑を行いました。

Q. 「市民との協働」に根ざした基本計画になったが、市民の役割をどの様に浸透させていくか？

A. 冊子等をつくり、広く市民の方々に周知していく。ふちゅうカレッジ出前講座の関係で総合計画の講座を載せてPRしていくとともに、「市長と語る会」などにおいても広く周知をしていく。

Q. 市の役割として「新旧住民をつないでいく」ということが挙げられているが、具体的には？

A. 今年度より、市民協働推進本部を立ち上げており、市民と市民とのつながり等を検討している。

要望事項 民主主義は情報公開から、正しい情報をいかに市民が持っているかが一番重要である。HPやTwitter等を使い、府中市は対応しているが、広報課だけでなく、各部署が意識を変えて正しい情報、必要な情報を必要な人のところにしっかりと届けていただきたい。

公共施設・用地への太陽光パネルの設置を推進する陳情

公共施設の屋根等、また、公共用地に太陽光パネルを設置する事業者を募り、賃貸契約を交わし、公共施設への太陽光パネルの設置を推進する措置を講じることを目指した陳情として、審査をされました。審査をされた建設環境委員会では採択、不採択が同数で委員長判断で「不採択」となりましたが、本会議では「採択」となりました。府中市が地産地消のエネルギー政策を進めることは市民の省エネへの意識付けにも繋がります。我々市民フォーラムは今後もこの問題にしっかりと取り組んでまいります。

インターネット中継が始まりました！

インターネット配信ページ <http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp/>

府中市議会は平成25年第2回定例会より、本会議のインターネット配信を始めました。インターネット環境があれば、いつでも本会議の傍聴をすることが出来ます！私たちの税金で運営される議会がどのようなことを議論しているのか、是非ご覧ください！

事務事業点検

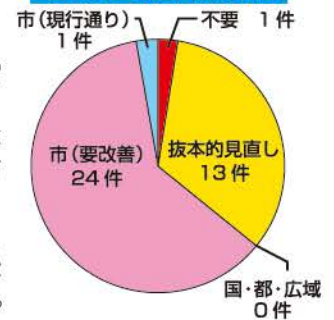
平成 25 年 7 月 6、7 日に府中市事務事業点検が行われました。

平成 23 年から 3 年間、事業仕分けの手法を用いて計 119 の事業の事務事業点検が行われました。事業仕分けは事業の廃止を目指すものではなく、私たちの税金が使われる事業がどの様に適正に行うべきかを第三者の視点から、オープンな場で議論をしていくものです。

行政の在り方と意識への問いかけという意味を持つため、何のための事業であり、どう運営していくべきかを議論します。そのため、必ずしもコスト削減、事業廃止となるのではなく、時として、必要なところには予算を増やすという結果にもなります。外部の視点というのは色々な「気づき」を与えてくれるので、とても参考になります。今回もコーディネーターの方からは「職員の危機意識の無さ」、「市民への（事業に対する）アピール不足」という指摘がされました。この三年間でどの程度変わったかは分かりませんが、徐々に意識を変えて行かなくてははいけませんね。今回府中市では三年間という予定での事務事業点検を行いました。今後この視点を活かして事業を展開していき、また事務事業点検を行っていくべきだと考えます。この三年間の成果がこれからの府中市にどの様に関わってくるのか、とても楽しみです。

府中市ホームページ：<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/shisei/zaise/gyozaiseikaikaku/H25tenkenkekka/index.html>

事務事業点検結果



一般質問

府中市の子どもたちが健やかに育つために

どんな子どもたちでも、個性を活かし、伸ばしていくこと。そして、大人になり日本や府中にとって必要な「人財」として成長するために、公立教育とは非常に大切なもの。府中市が行っている様々な施策を問い、府中市が子どもたちに出来ることを考え、子どもたちが健やかに成長することを考える。

Q. 子どもたちが問題を抱えた時に相談する場、また市の体制はどういったものがあるか？相談内容はこういったものがあるか？

A. 学校においては、週 1 日子どもたちへのカウンセリングや助言等を行う、スクールカウンセラーや、気軽に話せる存在として、小学校にメンタルフレンドを配置している。教育センターは、相談の場として、電話相談、教育相談、就学相談を基本に、特別支援巡回チームによる相談を今年度加え、子どもの心理・発達に関する心配事や悩み等に対応する相談体制を構築している。相談内容は、小学校では自己の「性格・行動」や「発達障害」、いじめなどの「問題行動」、中学校では「不登校」「情緒不安定」の解消に関する内容。教育センターでは、「しつけ・育て方」「不登校」「軽度発達障害」に関する内容。就学相談では、「知的及び情緒障害」「視覚・聴覚・言語」「肢体不自由」に関する内容が多い状況になっている。特別支援巡回チームは、その役割上、発達障害に関する内容となっている。

Q. 発達障害を抱える児童・生徒、保護者の方たちへのケアはどういったものがありますか？

A. 発達障害の子どもへのケア、保護者へのアプローチについては、保護者からの相談を受け、発達検査や行動観察、プレイセラピーを通して子どもに対する関わり方などについて、心理的な視点から助言するとともに、学校などの関係機関と連携し対応している。なお、学校ではその児童・生徒にとって最善の方策を検討するとともに、その対応について、保護者の方々と丁寧かつ十分な話し合いをすることで、学校と保護者が共通認識を持てるよう、働き掛けている。

要望事項

学校教育プラン 21 では、21 世紀を生き抜く力を身につけることを目標として掲げている。21 世紀を生き抜く力とは「共生をする、ともに生きる力」だと考える。これだけのグローバルイゼーション、情報化が進んだ時代、多様性のある社会の中で、異質なものを排除するのではなくて、多様な価値観を認め合っていくことを教育にも取り入れて欲しい。

府中市議会議員 須山たかし プロフィール

1980 (昭和 55) 年 11 月 6 日生まれ。

府中市晴見町育ち・在住。明星幼稚園、桐朋小・中・高校、

早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隅塾一期生。

民間の特許事務所に 3 年半勤めた後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。

蓮舫(れんほう)参議院議員の秘書を務めた後、2011 年府中市議会議員に初当選 (52940 票)。

文教委員会副委員長 再開発対策特別委員会委員

市民フォーラム所属

ご意見・ご要望など
ご連絡下さい

府中市議会議員

須山たかし

Tel 042-306-7361

mail suyama1980@gmail.com

HP <http://suyamatakashi.jp>

blog <http://ameblo.jp/suyamatakashi/>

twitter http://twitter.com/suyama_takashi/

facebook <http://www.facebook.com/suyamatakashi/>